

〔その他の主な質問〕

○民生委員に対する市の対応
○中学校の社会科教科書選定

生活環境

子育て世帯等に配慮したプレミアム付商品券の販売を

江川 直一
(公明党)

問 プレミアム付き商品券の販売について、本市ではいち早く実施し大盛況の中、第1回の販売が行われたが、何人の方が購入されたのか。

市民からは、早朝から長蛇の列、4時間以上並んだ、途中で断念した、駐車場が少ない、使える期間が短いなど、多くの不満の声を聞いている。本年10月に予定している第2回の販売においては、地域住民の生活緊急支援であること、を踏まえ、子育て世帯や年金受給者への配慮など、販売方法を検討していただきたい。

答 購入者数は3080人である。今回の課題を踏まえ、他自治体の実施状況を検証し、公正かつ効率的な販売方法について、商店会連合会と協議の上、検討していく。

●交通指導員について

問 登校時に立哨指導を行う交通指導員は、最低でも各小中学校に1人は必要であると考えるが、市の考えは。

答 交通指導員の定員は、条例で20人以内となっており、現在は11人の指導員で活動している。活動内容には、専門的知識や経験を必要とすることも多く、募集が進まない状況にある。今後、市ホームページに掲載するだけではなく、地域や学校からの紹介などを通じ、全ての小学校区に配置できるよう勧誘に努める。

〔その他の主な質問〕

○自転車安全利用促進条例について

産業振興

産業交流拠点の

具体的な

整備計画は

小林 友明

(新政策研究会)

問 本年5月の臨時市議会でも市長は今後4年間の施政方針

を示し、その中で、地域活性化の核となる道の駅やアグリパークなどを備えた産業交流拠点の整備に積極的に取り組むことを表明している。

また、整備スケジュールは

産業交流拠点の整備は平成25年3月策定の産業振興ビジョンに示されているが、核となる道の駅の具体的な整備内容やエリアの特定等事業計画の決定はどうか。また、完了目標年度を含むスケジュールはどうか。

答 整備内容の詳細は今後検討していくが、道の駅を核とする多様な機能を集約し、近隣の類似施設とは違う本市独自の拠点整備を考えていく。

整備エリアは、産業振興ビジョンや都市計画マスタープランの構想図に示す国道125号バイパス沿線を想定しており、国道17号バイパス沿いの可能性は極めて低い。



都市計画マスタープランなど

また、整備スケジュールは

産業振興ビジョンで中・長期と位置づけており、この間所管官庁や国の出先機関等に対する整備説明や支援要請と先行事例の視察や情報収集に取り組んできている。道の駅の全国モデルになり得るような具体的計画を早急に作成し、市長の公約であることから4年の間に目鼻をつけたい。

〔その他の主な質問〕

○地方公会計について

予防医療

ロタウイルス

ワクチンの

助成について

二本柳妃佐子

(公明党)

問 ワクチンで防げる病気のことをVPDと呼ぶ。生後6

週間という早い時期から接種ができるロタウイルスワクチンは、日本では2011年7月に承認され、11月から発売された。乳幼児の急性胃腸炎の中で最も主要なウイルスで、5歳までにはほぼ全ての子どもが感染し、胃腸炎を発症する。ワクチン接種が発症予防、感染制御の方策だが、費用が3

万円近くかかり、経済的な負担から接種時期を逃してしま

うことが考えられる。現段階では任意接種だが、全国128の自治体で助成が実施されている。県内の取り組み状況と市の助成への考えは。

答 県内における公費助成の状況は、鴻巣市、桶川市、本市のほか9市町村で実施し、費用の2分の1を助成している市町村が多い。先進事例を参考に、助成のあり方などについて調査研究していく。

●「i広報紙」導入について

問 スマートフォンやタブレット端末で読むことができるアプリで、福岡市の広告会社「ホープ」が提供する無料アプリ。いつでもどこでも読めるという利点を活かし、市の情報を幅広い世代に周知できると思うが、市の考えは。

答 無料の専用アプリケーションを利用することで、手軽に市報を閲覧することができる。優れたサービスである。速やかにi広報紙を導入し、市民サービス向上を図りたい。

